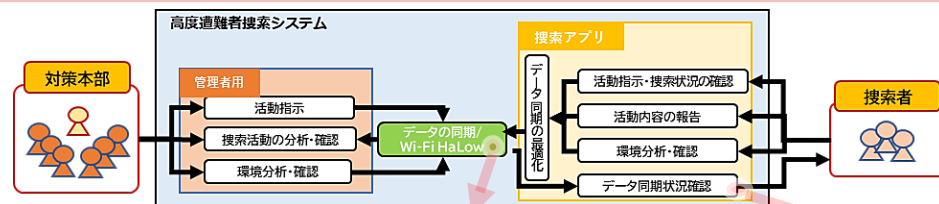


実施体制 (下線: 代表機関)	シャープ(株)、奈良県天川村、(株) Cube Earth、(株) ミラテドローン、奈良県天川村山岳救助隊、アストロデザイン(株)、(株) ACTIONM、和歌山大学、奈良県、奈良県広域消防組合	実証地域	奈良県天川村
目標	定期的に捜索情報の共有を行うことにより、山岳遭難者捜索活動の高度化及び捜索隊の二次災害抑制を目指す	通信技術	Wi-Fi HaLow
実証概要	遭難者発生の際、登山コースの殆どが携帯電話キャリアの通信圏外であるため、山岳救助隊は状況共有が極めて困難な環境で、人命救助活動を迅速かつ安全に行わなければならないという課題が存在 - Wi-Fi HaLowアクセスポイントを搭載したドローンにより、捜索班のデータを同期を行うためのWi-Fi HaLowデータ同期システムを構築 - 画像等の情報を共有するための高度遭難者捜索システムを実用化に向け改良し、Wi-Fi HaLowデータ同期システムへの対応と最適化		

山岳遭難者の捜索活動を高度化し、捜索活動の高効率化及び二次災害を抑制



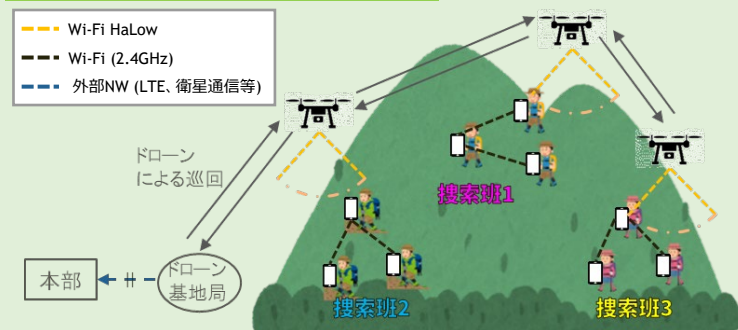
実証項目

- ドローンに搭載したWi-Fi HaLowによるデータ回収/同期システムの構築
- 捜索エリアの把握および遺留品の本人照合に係る時間の検証
- アプリケーション操作性向上と活動中の使用を想定した試験

通信環境の無い山岳地帯で広範囲のデータ同期を実現するための**Wi-Fi HaLowデータ同期システム**の実証

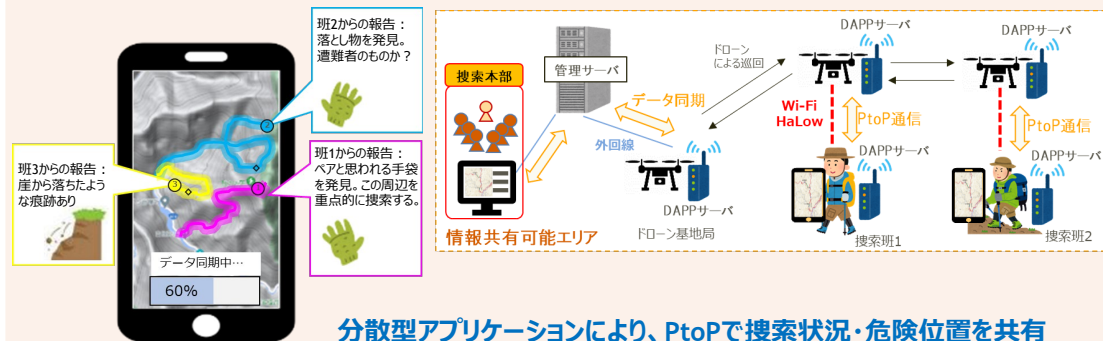
画像・テキスト・位置等を共有するための**高度遭難者捜索システム**操作性を向上し、実用に向けた試験を開始

Wi-Fi HaLowデータ同期システム



Wi-Fi HaLowを搭載したドローンによりデータを回収/同期
捜索班間・捜索本部との情報共有を可能とする

高度遭難者捜索システム（分散型捜索用アプリ）



分散型アプリケーションにより、PtoPで捜索状況・危険位置を共有
電波不感地帯においてもデータ同期が可能